事業プランニング学類アカデミックインターンシップについて

1. 学習の手順
2. 動画視聴
3. 課題レポート作成
4. 課題レポートへのコメントバック
5. 課題レポートの内容

①　なぜ、事業者の損得勘定の判断は難しいのか

　　・消費者の判断との対比から考察すること

　　・ケーキ屋の経費の項目を考え、採算性の検討からも考察すること

②　今日、食べ放題店が多いのはなぜか

　　・消費者と事業者の視点の差から、その商法の優位性を考察すること

　　・一般店と食べ放題店の経費構成の比率差が大きくなりそうな経費から、その優位性を考察すること

③　原価計画とは何か

　　・原価計画の沿革や意義を調べること（具体的な企業名をあげ、そこでの取り組みと成果を記述すると良い）

　　・事業構想の実現や事業計画の成功のために、原価計画の必要性を考察できると尚可

④　付加価値とは何か

　　・付加価値の意味を調べること

　　・付加価値に必要な要素を考察すること

以上、４項目を調査・考察すること。

1. 課題レポートの書式

①　ワード・A4縦・横書きで作成すること

②　表紙をつけること

③　図解や画像の貼り付け等を含め、書式は自由とする

④　定義や事例等、参考にしたものは、参考文献として明らかにすること

　　　文中に説明でも、文末にリスト化でも、何を参考にしたか明確にすれば良い。

　　　文中の例：〇〇の△△（□□・☆年）では、原価計画を次のように説明している。

　　　リスト化の例：〇〇『△△』（□□・☆年）

　　　記号：〇〇＝著者名、△△＝著書名、□□＝出版社名、☆＝発行年

また、ネットからの引用で、デジタルブックやPDF化された白書や論文等は、上記に倣うこと。ネットのみ（書き換え可能）の情報は、☆は閲覧日、最後にURLをつけること。ウィペディアや掲示板のようなもので、文責が不明なもの（誰が書いたかわからない・ハンドルネーム等。ただし、国税庁等、組織が著者の場合は特定の個人が特定できなくても問題ない。）は学術の世界では参考文献として扱わないので、留意すること。タイトルがないものは省略でも構わない。

不明点や質疑があれば、内田までメール（n-uchida@myu.ac.jp）でお問い合わせください。